

日本災害看護学会 令和6年能登半島地震災害看護プロジェクト活動報告

報告年月日：2024年8月4日（日）

活動隊員：金谷雅代

1. 活動期間

2024年7月30日（火）8時30分 ~ 2024年8月1日（木）13時15分

2. 活動場所

避難所：珠洲市立大谷小中学校（珠洲市大谷町1字78番地）

日置ハウス（珠洲市折戸町又部8番地）

珠洲市立宝立小中学校（珠洲市宝立町鵜飼丑部83番地）

応急仮設住宅：正院町第1団地（珠洲市立正院小学校・珠洲市正院町川尻1部39番地）

宝立町第1団地（珠洲市立宝立小中学校・珠洲市宝立町鵜飼丑部83番地）

3. 珠洲市の被害状況（8月1日 15時現在 石川県庁情報第149報）

人的被害 死者 114人 うち災害関連死：17人 負傷者：重症47人、軽症202人

住家被害 全壊：1,723棟、半壊：1,960棟、一部損壊：1,815棟 非住家被害：5,640棟

市町1次避難所 開設22箇所 避難者数282人

水道復旧 早期復旧困難地区（1,076戸）を除き、5月31日をもって断水解消

（珠洲市HPより8月3日確認）

4. 避難所の状況

【避難者数】

1) 大谷小中学校 7月30日：25人（登録者数）

2) 日置ハウス 7月30日：1人

3) 宝立小中学校 7月22日：42人（8月1日ささえ愛センター情報）

【避難所運営と生活状況】

1) 大谷小中学校 訪問日時：7月30日（火）15時

避難所運営者に状況を伺った。避難所内に健康状態が気になる方はいないとのことだった。1人が避難所内におり、空調が効いて快適だと話していた。日中自宅へ戻っていた避難者1人と駐車場で会った。車内にいたため、下肢の浮腫状況は確認できなかったが、増強していないと話された。

グラウンドに仮設住宅の建設工事が進んでおり、以前避難者が駐車していたスペースは、ほとんどが工事用車両で一杯だった。工事用車両の出入り通路が体育館入口近くに造設されていた。

2) 日置ハウス 訪問日時：7月30日（火）16時20分

旧日置小中学校グラウンドに応急仮設住宅が前週完成し、入居者は引っ越しが完了していた。翌日物資の配分をして日置ハウスの利用が終了するとのことだった。

3) 宝立小中学校 訪問日時：8月1日（木）10時40分

避難所リーダーが他用のため、避難所入口の受付担当者に避難所内の状況を聞いた。避難所内に健康状態が気になる方はいないとのことだった。

5. 仮設住宅の状況

1) 正院町第1団地 正院小学校グラウンド 76戸 訪問日：7月31日（水）

集会所の前のプランターが取り替えられ、色とりどりの花が咲いていた。車の出入りが多く、仮設住宅の横にも訪問者の車両が置かれている所もある。窓を閉め、スクリーンが下ろされた家が多い。非常に暑いこともあり、戸外で人を見かけることはなかった。今週は火・水のお茶会「いっぶくせん会ね」開催で、木曜日は休会と掲示していたが、10時頃にお一人がお茶会に参加するため、集会所へ入ってこられた。休会であることを伝え、次週の予定をお伝えした。

火曜日の18時～21時に「若者カフェ」が開催された。

2) 宝立町第1団地 宝立小中学校グラウンド 153戸 訪問日：8月1日(木)

集会所で水曜日の13時～15時にお茶会「宝立集いの会」が開催されている。

8月1日の11時頃に移動スーパーが音楽を鳴らしながら仮設住宅中央あたりに停車していた。利用者が次々と移動スーパーへ向かっている様子が見えた。

6. 支援活動の実際

【地域コミュニティ支援】

1) 正院町第1団地 お茶会「いっぶくせん会ね」

開催日時：7月30日(火) 7月31日(水) 10時～12時

開催場所：正院町第1団地集会所

参加人数：7月30日(火)11人+訪問者2人、7月31日(水)13人

開催内容

(1) 7月30日(火)

魚の絵と漢字が書かれたカードで神経衰弱を行った。漢字の読み方が難解なものは参加者で確認し合っていた。休憩をはさみ、カードを引いて出た魚の料理方法についてそれぞれ披露していただいた。この地域は海沿いであり、新鮮な魚が多く獲れて、自宅で魚をさばき、料理をして食べていたことを懐かしんで話していた。別の地域の住民と支援者1人が、お茶会の様子を見学に来た。区長や副区長が不在の地域で、自分たちで集おうにも場所がないと話された。

参加者の血圧測定と健康状態の確認を行った。収縮期血圧が150mmHgを超える人はいなかった。

(2) 7月31日(水)

ミュージックケア指導者2人による健康体操と認知症予防の歌を歌唱した。久しぶりにお茶会に参加された人や普段は出にくいという親子の姿もあり、楽しんでいる様子がみられた。

2) 若者カフェ (オブザーバーとして参加)

開催日時：7月30日(火) 18時～21時

開催場所：正院町第1団地集会所

参加人数：9人

開催内容

正院町、珠洲市をどのような町にしたいかについて熱心に検討されていた。正院地区だけでなく、他地域に住む若者もカフェに参加していた。

3) 宝立町第1団地 お茶会「宝立集いの会」

開催日時：7月31日(水) 13時～15時

開催場所：宝立町第1団地集会所

参加人数：8人

開催内容

ミュージックケア指導者2人による健康体操と認知症予防の歌を歌唱した。終了後に、準備・依頼された提灯にメッセージをそれぞれがいくつも書いていた。多くの思いがある様子だった。

【エリア会議出席】

開催日時：7月31日（水） 9時～11時

開催場所：珠洲ささえ愛センター（旧あいずみクリニック）

開催内容

珠洲市10地区を3つのエリアに分け、各支援団体とエリア担当保健師、ソーシャルワーカーが参加して個別の課題、コミュニティの課題について情報共有しながら検討している。

在宅生活者が情報不足であるという声がかかる現実があり、欲しい情報を確認し、伝えていくことが確認された。在宅者への訪問や支援が進んできていることが分かった。道路状況が悪いことや交通の不便さが続いていることが、受診行動や生活の支障となっていることが課題としてあげられていた。

【情報共有会議出席】

開催日時：7月31日（水）13時30分～14時20分

開催場所：珠洲ささえ愛センター（旧あいずみクリニック）

開催内容

訪問時のニーズを早期に共有し、対応していくことを目的に、健康増進センター、福祉課、珠洲市総合病院、ささえ愛センター、各支援団体が一同に会して検討している。

住民の歯科受診ニーズが高いが、歯科診療所の再開時期が先になる所、再開されない所もあり、能登町まで通うか市内1箇所での対応であるのが実情であるなど、課題が抽出されていた。

コロナ感染症が増加しているが、避難所等での検査より、病院受診を勧めること、換気と手洗いの徹底が改めて呼びかけられた。

7. 支援活動を通しての所感と課題

お茶会への参加者が通常と比べてやや少ないように感じた。連日高温が続き、少しの距離であっても暑さの中を歩いて集会所まで移動するのは困難であり、無理をしない範囲で参加してもらえると良いと考える。暑さの中でもお茶会に参加された人は、それぞれに楽しんで過ごされたようで、集まる場、語り合える場の重要性を再認識できた。今後は正院第2団地でも、旧保育所でお茶会が企画されていくとのことで、第2団地居住者のコミュニティ強化につながっていくことが期待できる。

フォロー中の方が元気な様子でお茶会に参加されていることが確認でき、地域でお世話している方の力を感じた。お世話係の方にも過度な負担とならないように労い、長く支援者として活動していただけるように支えていく必要がある。

若者が集うコミュニティ会議に参加し、集う一人一人が地域のことを考え、どうしたいかを出し合っており、参加者の声が届いてまちづくりが充実することを願いたい。

訪問先の避難所の環境や避難者の健康状態に問題はなかったが、熱中症対策、感染症対策など、確認の継続が必要である。また、日置地区に仮設住宅が完成し、避難者が個別の生活に変化していくため、特に独居者の孤立防止など、新たな支援が必要となってくる。

8. 写真



健康体操（7月31日 正院集会所）



健康体操（7月31日 宝立集会所）